



まつざきタイムズ

発行 **まつざき誠 後援会**
 中津川市苗木 2110
 TEL 0573-66-6926
 FAX 0573-65-6924
 (デンソーテン労働組合内)



🎉 新年あけましておめでとうございます。今年は穏やかな新年を迎えることができました😊
 1年間自然災害に遭うことなく、平穏な日々であることを願うばかりです。災害に強いまちづくりの第一歩は人づくりと言われています。自らが考え行動できる「人づくり」を皆で取り組みたいと思います。
 12月定例会の一般質問は9人が登壇し、私は「ごみの減量・収集の現状と取り組み」と「ごみ収集車へのバイオディーゼル燃料使用の現状と今後」について確認しました。

一般質問

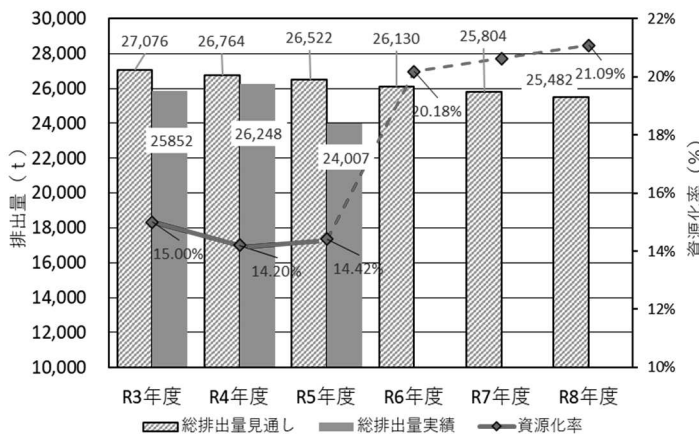
1. ごみの減量・収集の現状と取り組みについて

ごみの減量はゼロカーボンの取り組みとして住民の身近な取り組みの一つです。現在、恵那市との広域ごみ処理施設整備の計画がある中で、減量をさらに進める事で処理能力が1tで1億円とも言われる焼却炉の建設費の抑制にも繋がると考えます。

表1 目標値 (後期事業計画抜粋)

◇数値目標			
指標名	現状値 (R3実績)	目指す方向	目標値 (R8)
総ごみ排出量	25,852t	維持	25,482t
ごみの資源化率	15.00%	増加	21.09%

図1 目標値の見通しと実績の推移



(1) ごみ排出量の削減について

後期事業実施計画の令和8年度目標値は、総ごみ排出量と資源化率が表1の様になっている。図1の様に、令和3年以降の総ごみ排出量は一般廃棄物処理計画の見通しにより減少傾向ですが、ごみの資源化率は令和5年度で目標値19.73%に対して14.42%と大きく下回っている。一方で民間事業者による収集は増えているように思われます。

質問：ごみの資源化率は、中期事業計画最終の令和4年度でも目標23.3%に対し実績が16.9%と未達であり現在も緩やかに減少している。資源化率が増えない要因を伺います。

答弁：環境センターで扱った資源ごみの搬入量、及び再生利用量は減少傾向だが、資源化率が増えない要因は、搬入量の把握が困難な民間の資源回収ステーションが多く設置された事が影響していると考えます。

質問：民間による資源ごみの収集が、生活系の資源化率の目標値に与える影響について見解を伺います。

答弁：民間の回収ステーションが多く設置されたことで地域の利便性が向上しているが、排出量の把握が困難なため、市全体の実態が分析できないと考えています。

再質問：利便性が向上しリサイクル意識が高まることは良い事ですが、これがデータに反映されないと本当の資源化率が把握できないと考える。岐阜県の実態調査では、民間事業者の調査結果も公表されており、当市も把握する必要があると考えます。

答弁：全体の資源化率を把握するために、今後設置業者やスーパー等と連携をとって進めていきたい。

質問：回収された資源ごみのうち、主な品目で収入と支出のおよその金額を伺います。

答弁：資源ごみは大きく分けて、カン類・ビン類・ペットボトル類の3種類あり、令和5年度の税込み収入及び支出額は次の通りです。

分類	品目	収/支	単価(1Kg)	金額
カン類	アルミ缶	収入	201円	1,222万円
	スチール缶	収入	28円	139万円
ビン類	透明	収入	0.2円	3.5万円
	色付き	支出	17.71円	▲12万円
ペットボトル類		収入	64円	693万円

質問：令和4年に『プラスチックに係る資源循環の促進等に関する法律』が施行されました。これにより自治体も分別収集や再商品化などの取り組みが必要となってきます。ごみ減量化と市民への周知も兼ねて、先行して取り組む必要があると思いが見解を伺います。

答弁：ごみの排出量を削減するためには、細かく分別し再資源・再利用化が必要不可欠で、現在協議中の新ごみ処理施設は、プラスチックの資源循環が国の交付金を受けるための必須条件となっている。また、分別による減量が新施設の処理能力にも関わるため、順次協議・検討を進めていきます。

(2) 生活ごみの収集について

ごみの集積場所は自治会により設置や維持管理が行われています。一方で自治会に加入されない世帯が増えており、ごみの出し方について中津川市に限らず各地で問題になっています。また、人口減少により集積場所が減らされてしまわないか危惧される地域もあります。

質問：集積場所の設置基準を伺います。

答弁：概ね可燃ごみが20世帯以上、不燃・資源ごみが50世帯以上となっています。

質問：人口減少等により設置基準を満たさなくなった場合の扱いを伺います。

答弁：自治会等から廃止届が無い限り、原則廃止することはありません。また、基準以下であっても統合や統合に伴う移設も可能です。

質問：自治会に加入されない世帯の対応は、どの様にされていますか。

答弁：相談の際には環境センターへの直接搬入を案内しているが、状況に応じて地域と相談をして集積場所を利用することも勧めています。

質問：地域の集積場所が利用できない世帯の多くは、環境センターへの直接持ち込みが必要になりますが、持ち込めない世帯の受け皿として、地域に公設で集積場所を設ける必要があると考えます。

答弁：地域で公民館や学校など、公共の集積場所を利用している所もあるが、市として集積場所を設置することは考えていません。

<まつざきの考え>

- ・ごみの減量や資源化には、市民の意識向上と協力が不可欠です。ごみ減量がさらに加速すれば、処理施設の建設費を抑制することになり、次の世代の負担を減らすことにも繋がるため、継続的な情報展開や啓蒙が必要と考えます。
- ・現在の集積場所は、自治会による設置や維持管理が前提で容易に方針転換できないと思いますが、自治会への加入は任意で強制する事はできません。若者の地域との関わり方に対する意識の変化だけでなく、高齢者世帯の増加など、世の中の動向や住民のニーズを的確に判断するとともに、時代に合わせた施策や制度の見直しをお願いしたい。

2. ごみ収集車へのバイオディーゼル燃料使用の現状と今後について

6月より廃食用油から精製したバイオディーゼル燃料を混合した燃料を、環境センターのゴミ収集車2台に使用されています。

質問：開始から6か月での使用状況を伺います。

答弁：ごみ収集用パッカー車と資源回収トラックの計2台に使用している。これまで不具合は無く、燃料の使用量は6か月で1,063リットルです。

質問：今後の計画を伺います。

答弁：令和7年3月まで試験的に使用し、不具合等が無ければ他の公用車や市内工事現場の車両などに利用促進をします。

再質問：工事車両との答弁でしたが、今後は民間にも利用促進を進めるとの認識で宜しいか。

答弁：民間への利用促進を考えているが、燃料供給との兼ね合いもあり、計画を立てて進めたい。

要望：自治会による廃食用油の回収が年々拡大していますが、9月の時点で8地区と市内全域ではありません。引き続き、自治会への働き掛けをお願いしたい。

<まつざきの考え>

3月の一般質問で、廃食用油回収事業の推進において、公用車で率先した利用をお願いした事が6月に実施され少々驚きでした。水面下で計画が進んでいたと思われませんが、今後は民間事業者にも拡大することで、回収量の拡大や給油所の整備が課題となります。ゼロカーボンシティの一助となる計画的な取り組みを期待します。



お知らせ 次の情報は中津川市のホームページで検索すると閲覧できます。

★まつざき誠 一般質問映像 (29分)

中津川市議会



★ごみの分別に迷ったらここで検索！

ごみ分別



12月定例会の主な議案

《条例》（5議案）

1. 中津川市職員の給与に関する条例等の一部改正
人事院勧告に基づき、国家公務員の給与改正に準拠した改正。
2. 中津川市市営住宅条例及び中津川市市営単独住宅管理条例の一部改正
築60年を超える市営住宅の用途廃止を行う。
・対象施設：田原団地（蛭川）、富田団地（付知）

《その他》（4議案）

◆ 財産の取得

- ・東濃東部都市間連絡道路整備事業として土地を取得する（合計面積：5,440㎡）
・・・・・・・・・・5,398万円

◆ 損害賠償の額の決定について

- ・中津川市民病院における医療過誤の損害賠償
・・・・・・・・・・9,937万円

◆ 指定管理の指定について

- ・施設の管理を指定管理者に行わせるため。
施設名：加子母 B&G 海洋センター
指定先：特定非営利活動法人 わくわくプラザ
指定期間 R7年4月1日～R12年3月31日

《補正予算・初日提案》

補正の規模 6億2,204万円

◆ 国・県補助金等を活用しての事業実施（4議案）

- ・樹種判読調査を実施
・・・・・・・・858万円
(航空写真等を活用した作業の効率化)
- ・法人保育所等の一時預かり経費等を補助
・・・・・・・・734万円
- ・県営事業に対する負担金を増額
中山間地域総合整備事業（やさか地区）
・・・・・・・・120万円



◆ 寄附を財源とした備品購入等（4議案）

- ・しあわせづくり基金へ積立て・・・・・・・・計668万円
(匿名500万円、ミリオン電工(株)様100万円、明治安田生命 名古屋東支社様68万円)
- ・教育基金積立金への積立て・・・・・・・・計1,355万円
(匿名3名：55万円、300万円、1,000万円)
- ・小中学校の図書を購入・・・・・・・・計105万円
(小南 誠様(瀬戸市：付知町出身) 100万円、匿名5万円)
- ・こども園の備品購入・・・・・・・・57万円
(過去の寄付金を活用：やさかこども園)

◆ 緊急対応が必要な事業（11議案）

- ・市庁舎の自家発電機を更新・・・・・・・・6,736万円
- ・環境センターごみ処理施設修繕・・・・・・・・9,900万円
- ・若者世帯の住宅取得に対する補助金予算を増額
(補助申請増加見込み件数40件)・・・・・・・・1,750万円
- ・蛭川済美図書館の空調設備を更新・・・・・・・・2,244万円
- ・中津川公園の指定管理料を増額・・・・・・・・1,533万円

◆ 基金積み立てのための事業（5議案）

- ・財政調整基金管理事業・・・・・・・・2,010万円
- ・地域振興基金管理事業・・・・・・・・160万円

◆ 事業費等の精算（4議案）

- ・国庫補助金を返還（消防施設建設事業）・355万円
- ・国庫補助金を返還（公立保育所事業）・256万円
- ・後期高齢者医療広域連合納付金
(後期高齢者医療事業会計)・・・・・・・・1,367万円

◆ 人件費の補正（4議案）

- ・職員給与費（全会計分）・・・・・・・・3,625万円
- ・会計年度任用職員報酬等（全会計分）1億6,410万円
- ・議員期末手当・・・・・・・・96万円

★12/9 追加議案

《その他》（1議案）

◆ 財産の取得

- ・GIGAスクール用タブレット端末
(小学校：3,950台、中学校：2,050台)
・・・・・・・・2億9,383万円

《補正予算》（2議案）

補正の規模（一般会計） 2,450万円

◆ 緊急対応が必要な事業

- ・坂下98号線を復旧・・・・・・・・850万円
(令和5年6月豪雨により被災した市道の山側法面を復旧するための用地測量、不動産鑑定等)
※復旧工事は令和7～8年度に実施予定

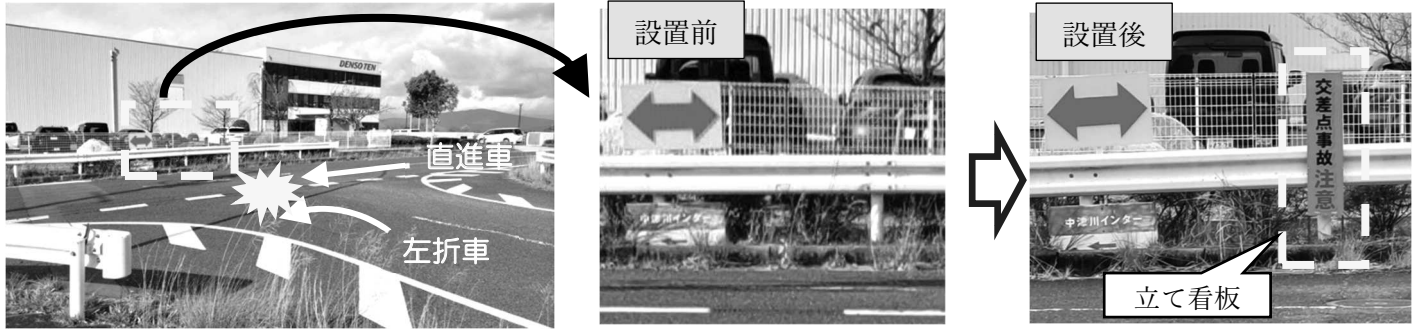


《議員提出議案》

- ・刑事訴訟法の再審規定の改正を求める意見書について
えん罪被害者を一刻も早く救済するため、刑事訴訟法の再審規定（証拠開示のルール化）について改正を速やかに行うよう強く要望する。

改善事例

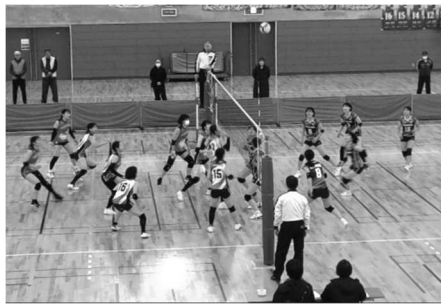
中津川工業団地内にある当社テクノセンターの安全担当から、「退社時に正門付近のT字路交差点で、左折車の左右確認が不十分な時があり、事故になる可能性があるため一時停止にできないか」との相談がありました。市の担当課から警察署に要望を提出していただきましたが、優先側が明確で過去10年の事故事例が無いため現状維持との事。とはいえ事故が起ってからでは遅いので、市の担当課と相談し合流側の正面に注意喚起の看板を設置しました。充分とは言えませんが出来ることから実施し効果確認を行っていきます。



活動トピックス



交通安全街頭指導 (12/20)



デンソーテン レッドフェニックス (バレー部) 応援 (12/22)



年末夜警特別巡視 (12/27)

自動車総連組織内議員

いそざき哲史

公式サイト

info@isozakitetsuji.com

facebook.com/isozakitetsuji.jaw

仲間の思い、
かたちにしたい。



1月の行事

- 6(月) 議会報編集委員会
- 8(水) 商工会議所互例会
- 10(金) 連合岐阜 新春の集い(岐阜市)
- 11(土) 中津川市消防出初め式
- 13(月) 全トヨタ 議員団定例会(刈谷市)
- 14(火) 議員連絡協議会
- 15(水) 連合岐阜 政策協定申し入れ
- 17(金) 苗木地区 区長会
- 19(日) 落合10号区 新年会
- 20(月) 落合地区 区長会
- 22(水) 市政報告会(デンソーテン)

岐阜県にお住まいの方へのお知らせ

岐阜県知事選挙が行われます。
大切な権利を無駄にしないようにしましょう。
・告示日：令和7年1月9日(木)
・投票日：令和7年1月26日(日)

市政への意見・要望や地域の問題等、
お気軽にご相談下さい。
携帯電話：090-7257-6588
Eメール：info@matsuzaki-makoto.jp

☆情報発信を随時行っています☆

公式ホームページ

<https://matsuzaki-makoto.jp/>



ホームページ



公式LINE



Facebook



Instagram